2024年度　光が丘リーグ　低学年戦（4年生以下）
試合方法/ローカルルール/グランドルール/順位決定方法

※2024年8月7日更新
※変更点は赤字表示

1．試合方法

(1) 試合は5イニング制とする。1時間10分を超えたら新しいイニング（次の回の表・裏の攻撃）に入らない。

(2) 試合終了時に同点の場合は、以下とする。
リーグ戦の場合）
試合終了時刻に関わらず特別延長戦は実施せず、引き分けとする。
トーナメント戦の場合）
特別延長戦（タイブレーク／無死1塁2塁、継続打順）を2回実施し勝敗を決する。再び同点の場合は、両チームの最終メンバー各9名による抽選にて決する。
※尚、第一試合が特別延長戦になり第二試合の開始が遅れた場合、第二試合は会場使用時間までは実施し、消化しきれなかった場合は継続試合として別日に実施する。また、第二試合が特別延長戦になり、グランド利用時間までに消化しきれなかった場合も同様に継続試合として別日に実施する。継続試合では投手の投球数は継続される。

(3) コールドゲームは、3イニング以降8点差とし、降雨および日没の場合は、当該試合審判が協議のうえ試合続行の可否を決定し、不可能と判断した場合は継続試合として別日に実施する。継続試合では投手の投球数は継続される。

(4) 試合進行は、審判員の指示に従うこと。会場により特設ルールを設ける場合は、審判員の権限においておこなう。

(5) 投手に対するタイムについては1イニング1回までとし、2回目は投手交代とする。

(6) ボークについて春季は適用しない。ボークに当該する動作が発生した場合、審判員が速やかにタイムを宣告しプレーを中断した後、当該投手に説明を実施する。仮に審判員のタイムの宣告が遅れ、打者が打撃を行った場合や投手が牽制を行った場合も、その結果に関わらず投球時点でプレーは中断したものとする。したがって中断したプレーに関わった選手、状況は無効となり中断前に戻す。投球カウントもしない。
秋季はボークについては1回目から適用する。

(7) ランナーコーチは登録選手のみとする。

(8) 参加チームは試合の15分前までにスターティングメンバーを4枚（直筆1枚《本部用》と複写3枚）を本部に提出すること。

(9) 選手はユニフォームを着用し、試合中は必ず着帽のこと。背番号については正規の番号を付けること。 キャッチャーは、マスク、レガース、プロテクター、ファールカップ及びヘルメットを着用すること。また、打者・走者・ランナーコーチ・ボールボーイも危険防止のため必ずヘルメットを着用すること。

(10) 監督、コーチのユニフォームは、選手と同色・同意匠とすること。
また、スコアラーは私服とし（アマチュアスポーツに相応しいスポーティーな服装）、所属チームの帽子を着帽し必ずスコアーをつけること。

(11) メガホンは監督かコーチのみの使用とし、1チーム1個とする。

(12) 金属製ポイントのスパイクの使用は、禁止する。

(13) シートノックは行わない。

(14) 金属製バットは JSBB マーク入り以外の物の使用は認めない。

(15) 試合球はナガセケンコーJ球とする。チーム2個試合球もメンバー票と一緒に出すこと。
(16) 投手の投球数制限については、一人1日60球とする
(17) 投手の練習投球は、試合開始時5球、イニング間は3球とする。投手交代時の投球練習は当該選手が試合内で始めて投球する場合は5球、再登板の場合は原則3球とする。但し、同一インニング内でない再登板の場合、審判団の判断や当該選手からの申し入れがあった場合は最大で5球まで可能とする。

2. 光が丘リーグ ローカルルール

(1) 投手が投手板を外して牽制球を行い、悪送球等でそのままボールデッドとなった場合、塁上のランナーはテイクツーベースとする。
(2) 野手がフライを完全捕球後にボールデッドラインを越えてしまった場合、バッターランナーはアウトとなり、塁上にランナーがいる場合、塁上のランナーには進塁権を与えないこととする。
(3) その他ルールは練馬区軟式少年野球連盟が定める各年度のルールに準拠する。

3. グランドルール

(1) グランドへの入場は事前にリーグから指定された時間以降とする。尚、当該グランド提供チームはこれに属さないものとする。
(2) 次の試合を待つ間のアップは、当日の審判団に許可を得たうえで、ボールデッドゾーンでかつ試合進行の妨げにならない場所であれば、ボールを使った練習も可能とする。但し、試合進行の妨げにならないようチームスタッフを配置するなど最善をつくすこと。
(3) グランド内でのノックはサイドノックのみ可能とする。
(4) 試合前の素振りは距離を充分にとって、安全性を確保したうえで可能とする。試合開始後はネクストバッターズサークルおよびバッターボックスも含むグランド内での素振りは禁止とする。

4. 順位決定方法

(1) 春季
代表と1位、2位について）
単独で参加可能なチームのみで代表決定トーナメントを実施することとする。
優勝チームは1位とリーグ代表、準優勝チームは2位として決定することとする。
3位について）
代表決定トーナメント敗退チームと合同チームで抽選による3位決定トーナメントを実施して決定することとする。
(2) 秋季
別途検討とする。

2024年8月7日
光が丘リーグ　審判部
審判長　原 豊